

令和4年度の学校経営

1 学校教育目標 「思いやりの心を持ち 互いに学びあう たくましい児童の育成」

2 目指す児童像

≪思いやりのある子（徳）≫ 相手の立場に立って考えられ、気遣いのできる児童

≪学びあう子（知）≫ 主体的に学習に取り組み、自分を高めることができる児童

≪たくましい子（体）≫ 主体性をもってやり遂げる意志の強さと体力をもった児童

3 目指す職員像

○声を掛け合い、気にかけて、協働する職員集団

○一人一人の子どもの可能性を信じ、公平公正な態度で温かく接する職員集団

○ICT 活用に積極的に取り組み、子どもとともに成長する職員集団

○社会性を身につけ心身ともに成長する職員集団

○子どもや保護者・地域に信頼される職員集団

4. 本年度の教育重点目標

(1) 子どもがいつも大事にされていると思える学校

相手の立場に立って考えられ、気遣いのできる児童像の確立には、いじめ問題も含め偏見や差別を許さない意識と態度の育成が不可欠です。いじめや偏見、差別などの人権侵害を決して許さない校内の機運が重要となります。人がいやがることをすることは、人間として許されません。それを全校集会や学校行事、教科等の指導で徹底していきます。

(2) 楽しく学べて自分を高めることができる学校

主体的に学習に取り組み、自分を高めることができる児童像の確立には、学校生活の大半の時間を占める授業の充実が重要です。誰もがわかる授業、誰もが参加できる授業を展開し、「自ら考え、自ら判断し、自主的に行動できる子ども」の育成を目指します。自分で考え、自分で判断して、実際の生活の中で実践しようとする態度が身につけば、発展的な学習が期待できます。

I C T活用に積極的に取り組みます。一人一台のタブレットを有効活用します。

(3) 心と体を健康にできる学校

主体性をもってやり遂げる意志の強さと体力をもった児童像の確立には、心身の健康が大前提となります。自分の体をよく知り、より健康に生きていくための知識と実践的な態度を身につけることが重要です。